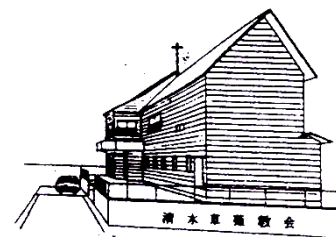


≪今朝の聖書から≫先週は、ルカによる福音書に記
 録されている、シメオンが宮で幼子イエス様を抱き上げた日と
 されています。イースターに並ぶ記念日、“神が人に出会われ
 た日”として祝う教会もあります。今朝は、マタイ4章が開か
 れます。時は30年ほど後のことです。宣教の働きを開始され
 るイエス様が悪魔(1~11節)の誘惑に打ち勝たれた記録が
 あります。4章全体ですが、誘惑に続いて、弟子となった人々
 が興されたこと(18~22)。多くの人々がイエス様のもと
 にやってきたこと(23~25)の順に記されています。“聖
 書のもくじ”を覚えることには何の価値もないようですが、た
 だの知識で、知っているからといって何一つ誇るべきことでも
 ありませんが、“何が書かれているか”ということ所々、なん
 となく覚えておくのも楽しいことではないでしょうか。例え
 ば最初の弟子となったペテロたちの物語については、先に礼拝
 でも開かれた聖書の箇所(ルカ6章)を思い出された兄姉も多
 いと思います。マタイによる福音書に戻しましょう。まず、悪
 魔の誘惑をお受けになったことが出てきます。まず、悪魔によ
 って荒野に導かれたとあります。この世の荒野は悪魔の場所
 (土俵)なのです。悪魔はイエス様に挑戦的に問いかけます(3
 節)。4節で主は、悪の力に対して“神の言葉”をもって臨ま
 れています。二つの相容れない世界の衝突をみることができま
 す。続く箇所、6節に対する、イエス様の7節の姿勢、そして
 9節に対する10節のお答、と続いています。どんな試み(誘
 惑、試練、テンプレーションと言っても同じことでしょう)に
 対しても、神の世界をもってこれに勝たれました。そして悪魔
 はイエス様を離れ去って行きます(11節)。私たちには、こ
 んなことはできないかもしれません。だからこそ主は私たちの
 ために、勝利を収めてくださっているのではないのでしょうか。
 問題はこの悪魔の誘惑が、私たちにも、実によく理解できる
 ということにあるのではないのでしょうか。信仰がこの世の力のため
 に役に立つなら、何時でもまいりましょう、と言った人たち
 も、罪人とか、汚れているなどと呼ばれて、のけものにされて
 いた人達に“社会復帰”をもたらすイエス様に、ついて行った
 のかもしれません。私たちも悪魔のようにイエス様を、そして
 教会を試みないようにしたいものです。“私の言う事を聞いて
 くれる教会”、“私に従う教会”には、神様の自由はないので
 す。そのような教会にあるのは罪の自由で、福音も、暗いもの
 になっていくのではないのでしょうか。

週報

2008年 2月 10日



主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。
 使徒行伝16:31

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル一会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈禱会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885
 静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26
 ☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp
 牧師 村上定幸